



The Kiyota Global Times

市立札幌清田高等学校 グローバルコース通信 第5号 AUGUST 2021

「卒業研究発表会」が開催されます！

グローバルコース長
紀伊國 薫

グローバルコース3年間の集大成として、「卒業研究発表会」が8月25日(水)に開催されます。6校時は全生徒(代表生徒を除く)によるポスターセッションを4階の12教室に分かれて行い、7校時は体育館に移動し、代表生徒2名によるパワーポイントを使用してのステージ発表を実施する予定です。例年、1, 2年グローバルコースの生徒を対象に発表を行っていましたが、本年度も1年次については普通コース、グローバルコース共に参加してもらうことになりました。

2年グローバルコースの皆さんは先輩達の発表を聞き、積極的に英語で質問をして下さい。3年生は皆さんからの質問を待っています。発表者と聴衆の協力でよりよい発表会を作り上げて下さい。また、1年後の卒業発表を見据えて、自分はどのようなことに興味があり、何をテーマとするのか考えてみましょう。今から関心のある分野について読書を始めるのもよいでしょう。

1年次グローバルコースの皆さんは、先輩達の発表に圧倒されるかもしれません。しかし、今の3年生も1年生の時には、「自分に出来るだろうか…」と不安に思っていました。これを機に今後の英語学習の目標を見つけたいと思います。もちろん1年次からの質問也大歓迎です。

1年次普通コースの皆さんは、「何故、英語の発表を聞かなければならないのか?」と思っているかもしれませんが、今回はプレゼンの仕方について学んで下さい。先輩方のプレゼンの良い点、改善すべき点を見つけ、今後の学習で自分がプレゼンテーションを行う際の参考にしましょう。

事前に各発表の日本語での要約と重要語句のリストを配布します。発表内容を把握してから参加して下さい。特にグローバルコースの生徒は自分ならどのような質問をするのか考えてみましょう。

最後に、卒業研究に至るまでの3年間の取り組みを裏面に掲載しました。1・2年生のグローバルコースの生徒は、いずれは通ることになる道です。参考にしてみてください。

「国際理解基礎」JICA 訪問、SDGs 入門、領事館訪問を行いました！

1年次の集中講義「国際理解基礎」でJICA訪問、SDGs入門、領事館訪問を行いました。集中講義は長期休業などを利用して行われる「授業」で、今年度は1年生のグローバルコース40名と普通コースから高い志を持った3名が選択し、43名で行われています。

7月13日(火)に行われたJICA訪問では、JICA北海道(札幌)を訪問し、世界各国の民族衣装や開発途上国の現状、そしてブラジルに青年海外協力隊員として派遣された方の体験談などを学びました。

夏季休業中の7月26日(月)には、「SDG講演会」を実施し、札幌市環境局でSDGsについての取り組みを行っている佐竹さんから世界の地球温暖化の現状、そして日本で5番目にフェアトレードタウンとなった札幌市の取り組みなどを学びました。

7月27~28日に予定されていた韓国領事館訪問は新型コロナウイルス感染者数が増加してきたことに伴い、急遽中止となってしまいましたが、休み明けの8月19日(木)に予定されていたアメリカ領事館のオンライン訪問については無事開催されました。1年生の皆さんにとって、リアルな英語は聞き取るのもまだまだ難しかったりもしたかもしれませんが、がんばって英語を勉強しようというモチベーションは高まったのではないかと思います。地道な努力を続けていってください。



SDGs講演会の様子



アメリカ領事館オンライン訪問の様子



在札幌米国総領事館のみなさん

グローバルコース 15 期 3 年間の取り組みを振り返って

グローバルコース副コース長・英語科 菅原 桂子

夏季休業前に卒業研究グループ内発表会が実施されました。1月から半年以上かけて向き合ってきたトピックについて、一人ひとりが熱意をもって発表している姿は誇らしげで、輝いて見えました。同時に、8月の卒業研究発表会に向けてもう一歩磨きをかけることができるはずという確信を持つことができました。ここで、最後のプレゼンテーションに向けて G15 期の成長過程を振り返っていききたいと思います。

< 1 年 >

自分自身のことや身近なことについて英語で話すことを最初の目標とし、徐々にニュース記事などを読んで自分の意見を言ったり書いたりすることへとステップアップしていきました。入学時から元気で積極的なクラスでしたが、最初は授業中に日本語を使っていたり、文法を苦手としている人もまだ多くいました。

【行事・活動】

6 月：JICA 研修員学校訪問 カメルーン、ガボン、ケニア、パプアニューギニア、ペルーから来日した JICA 研修員 6 名が本校を訪問し、出身国の紹介と本校生徒による日本文化の紹介を行いました。

7 月：領事館訪問 グループに分かれてアメリカ、韓国、ロシアの領事館を訪問。各国について説明を受け、事前に用意した質問に回答していただき、訪問国や領事館の役割について学びました。

8 月：ALT Day 市内の ALT 約 20 名が来校し、交流をはかりました。ALT 1 人と生徒 2 人のグループに分かれ、日本文化等の紹介や ALT の出身地のプレゼンを通して英語を話すことに慣れ、自信をつけました。

11 月：English Camp 市内約 10 名の ALT と共に日本語禁止の 2 日間を過ごしました。その中で 7 月の領事館訪問に関し、初めてパワーポイントを使用しての本格的なプレゼンテーションに挑戦。また、グループ毎にニュースやドラマ等のテレビ番組を企画し、ALT とスクリプトや小道具を作成して、TV Show として発表。傑作もあり、楽しいひと時でした。

2 月：グループ研究発表会 「総合的な探究の時間」に調査し日本語で発表したトピックについて、さらに知識を深めるために、複数の英語の文献を読みました。英語の文献を読むことは 1 年生にとって非常に難しいことでしたが、ALT たちの助けを借りながら一生懸命に読み進め、パワーポイントを作成し、2 月の「グループ研究発表会」で英語によるプレゼンテーションをしました。発表会には多くの保護者の方々や、中学校時代の恩師にも来校いただき、一年間の学習の成果を披露することができました。

< 2 年 >

新型コロナウイルス感染拡大のため約 2 か月の休校があり、その間の課題として 1 年生で習った文法の総復習で基礎力を固め、さらにはエッセイライティングに挑戦しました。学校再開後はコミュニケーション英語とプレゼンテーションの授業において、発表内容を身近な話題から社会問題へと少しずつ難しいトピックにステップアップし、根拠に基づいた意見をグループやペア、個人で発表する練習を行いました。残念ながら楽しみにしていた海外見学旅行に行くことができず、マレーシアの学校でのディス

カッション、帰国後のプレゼンテーションはできませんでしたが、その分、じっくり時間をかけプレゼンテーションのトピックの選び方や相手に伝えるプレゼンテーションの方法などを数々の実践を通して学び、自信をつけていきました。その成果が一番現れたのが、G14 期の先輩方が 9 月に行った「卒業研究発表会」です。1 年生の時には先輩方のプレゼンテーションを聞いてもほとんど理解できず、悔しい思いをしましたが、2 年生になり、内容を理解できただけでなく、そのあとの質問を積極的にすることができました。そして、次は自分たちが卒業研究をする番であることを自覚した日でもありました。

【行事・活動】

9 月： 選んだトピックについて ALT とディスカッションをしました。難しい内容でも楽しそうに英語を話す姿に 1 年前の ALT Day からの成長を実感した 1 時間でした。

11 月 - 3 月：

①**ダルニー奨学金** 例年、学校祭でフェアトレードショップを開催し、その売上金を東南アジアの学校に通えない子供たちに奨学金を送る「ダルニー奨学金」の支援を行ってきました。この年はコロナ禍で学校祭が開催されなかったため、その代わりに書き損じ葉書を回収し、奨学金にあてるという取り組みを行い、最終的に学校内外で 3,732 枚の書き損じ葉書が集まり、カンボジアの中学生 3 人に 3 年間の支援をすることができました。この取り組みは 2021 年 2 月 10 日の北海道新聞にも掲載されました。

②**マレーシアへのビデオメッセージ** 見学旅行での訪問はできませんでしたが、交流を途絶えさせたくないとの思いからビデオメッセージの作成を開始しました。マレーシアの学生に札幌の雪景色を見せてあげたいと、中庭にかまくらを作ったり、スキー場での撮影など工夫を凝らしました。様々な活動が重なり、ビデオを送ることができたのは 4 月になってしまいました。マレーシアの学校からもメッセージが送られてきて、今後も後輩たちが交流を続けていく橋渡しとなりました。

2 月： 卒業研究バックグラウンドリサーチ発表 卒業研究を行う前段階として、各自が決めたトピックについて現状をまとめ、各自のリサーチクエスチョンや今後の調査予定を発表しました。発表を通じて、卒業研究としてこのトピックに今後も取り組んでいけるのかどうかを再確認し、議論の方向性を考え直したり、トピック自体を変更した生徒もいました。

< 3 年 >

「卒業研究」では、①Pros and Cons (賛成・反対の両論)、②Compare and Contrast (2 つの案の比較)、③Persuasion (根拠に基づいて説得)、のいずれかの形式を選択し自分の意見や提案を英文にまとめました。さらにパーソナルリサーチを加えることで、社会的な問題を自分事として考え、“Think globally, act locally.”を目指しました。5 月には普通コース生徒とのディスカッションを行い、1st Draft を完成、6 月に 2nd Draft、7 月にパワーポイントを使ったグループ内プレゼンテーションを行い、8 月 25 日「卒業研究発表会」を迎えます。

< 最後に >

私事ですが、2019 年、G15 期生が入学してすぐの 6 月から 2 か月間、イギリスの大学で研修の機会をいただき、「生徒のプレゼンテーションスキルを向上させるための段階的指導法」を中心に研究してまいりました。その時に得た知識を活用し、JTE・ALT たちと試行錯誤しながら 3 年間指導してきました。生徒たちは厳しい指導にも頑張ってくれて（時には泣きながら）ついてきてくれました。そして、いつも期待以上の結果を出してくれた G15 期生です。「清田高校最後の 3 年 8 組」として有終の美を飾ってほしいと思います。